

陳 情	受 理 番 号	46	受 理 年 月 日	令和4年2月7日	付 託 委 員 会	教育福祉
件 名	子ども達の常時マスク着用軽減について					

件 名 子ども達の常時マスク着用軽減について（陳情）

陳情の趣旨

平素より市民の社会生活の改善に尽力賜り感謝申し上げます。

感染対策として、常時マスク着用をせざるを得ない子ども達がマスクを着用し、

息苦しさ、心身の不調を訴えにくい風潮となっている学校生活に懸念しております。

つきましては、各学校へ正しい咳エチケットの周知徹底、登下校時のマスク着用の不要、

体育や休み時間などはさらに息苦しさを増す為マスク着用の不要を求めます。

陳情の理由

- ・現在感染対策が各家庭におきましても日常にある中で、厚生労働省の咳エチケットに準じた場合、健康上問題のない児童への常時マスク着用は不用であり、むしろ常時着用することによって心理的・身体的ストレスの蓄積へと繋がる為。
- ・マスク着用は保護者に決定権があり、特に発達障害、アレルギー体質、温暖な気候である沖縄で常時着用(屋内外)は、それらの体質等への影響も十分に考えられる為、マスク着用は強要できるものではないと存じます。(北海道有志医師の会より参考資料添付)

長期間にわたる対策等、厳しい状況下であると重々承知の上では御座いますが、上記内容を踏まえてご検討の程宜しくお願い申し上げます。